

● 基本的な方針

当社は、経営方針や持続的な成長と中長期的な企業価値向上に向けた取り組みについて、適切な情報を適時に開示するとともに、分かりやすい言葉で説明し、株主・投資家等の皆様との対話を積極的に行うことを基本的な方針としております。

株主・投資家等の皆様との対話で得た意見を取締役会へ報告し、さらなる取り組みへつなげてまいります。

● 対話に対する体制

株主・投資家等の皆様との対話については、経営管理部担当取締役が統括します。また、実際の面談については、面談目的に応じて、取締役または経営管理部が適宜対応しております。

- 個人株主向けには、株主通信の発行や当社ウェブサイト上での事業説明を通じて、分かりやすい情報発信に努めております。
- 機関投資家・証券アナリスト向けには、半期に一度の決算説明会の開催や、取締役または経営管理部による個別面談、社長・経営管理部担当取締役をスピーカーとしたスモールミーティングの開催などを行っております。

● 取締役へのフィードバック体制

フィードバック形式	頻度	内容
取締役会にて株主・投資家等の皆様との対話状況を報告	都度	代表取締役社長が、株主・投資家等の皆様からの意見を取締役会にて報告
決算説明会の視聴	年 2 回	登壇者以外の取締役で決算説明会を視聴、適宜意見交換

● 株主との対話（2026年度2月期実績）

イベント名		実績	応対者
決算説明会（機関投資家・証券アナリスト向け）		2回	代表取締役社長、経営管理部担当取締役、経営管理部
スモールミーティング		15回	
個別対話		191回	
国内	98回（51%）		
海外	73回（38%）		
アナリスト	20回（10%） *%は構成比		

* 対話の応対者は、株主の皆様のご希望や面談の主な関心事項を踏まえ決定しています。

● 対話と取締役へのフィードバックの状況

機関投資家や証券アナリスト向けに決算説明会を開催し、業績や新しく策定した中期経営計画の内容を説明いたしました。スモールミーティング、及び個別対話では、業績や中期経営計画の説明、事業活動や市場に関する説明を行い、当社理解を深めていただきました。2026年2月期は、四半期ごとの決算概要や見通し、中期経営計画の内容、資本政策、研究開発、営業戦略が主な対話のテーマでした。

株主・投資家等の皆様との対話で把握した貴重なご意見は、経営管理部が代表取締役社長と経営管理部担当取締役に報告し、代表取締役社長が取締役会へ報告いたしました。

● 対話の成果

中期経営計画の開示において、これまでの売上や利益に加えて、キャッシュアロケーションの項目を定量的にお示ししました。成長投資と株主還元に関する議論や、最適な自己資本比率についてのご意見を多くいただきました。

2 開示をベースとした対話、経営へのフィードバック、経営戦略のサイクルを回すことにより、企業価値の向上につなげてまいります。